

## 腹膜播種及び腹腔洗淨細胞診陽性胃癌を対象とした多施設共同後向き観察研究

### 1. 研究の対象

2008年1月1日から2012年12月31日の間に国立がん研究センターもしくは本研究参加施設で審査腹腔鏡または開腹手術を行なっている、胃がんで腹腔洗淨細胞診陽性または腹膜播種あるいはその両方が判明している患者さんを対象としています。

### 2. 研究目的・方法

今回の研究で腹腔洗淨細胞診陽性および腹膜播種陽性のみの胃がん患者さんにおける術後補助化学療法の効果を調査することで、補助化学療法の意義や適切な薬剤選択、そして今後の治療の発展に活かすことを目的としています。

国立がん研究センターもしくは本研究参加施設の診療録の記録を用いて、上記対象患者さんの背景、治療成績や予後等について調査します。研究実施期間は約2年です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 病歴、化学療法の治療歴、再発/生存情報、カルテ番号等

### 4. 外部への試料・情報の提供・公表

研究事務局へのデータ提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

国立がん研究センター中央病院 片井 均

JCOG (Japan Clinical Oncology Group: 日本臨床腫瘍研究グループ) 胃がんグループ内で本研究に参加表明した30施設

### 6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 消化器内科 山口敏史/高島淳生

TEL: 03-3542-2511 FAX: 03-3545-3567

研究責任者:

国立がん研究センター中央病院 胃外科 片井 均

研究代表者

国立がん研究センター中央病院 胃外科 片井 均